

# トイレサポート器具 レストハンドFS・FSI

## 安全上のご注意

施工前に本書をよくお読みの上、正しく施工してください。また、ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

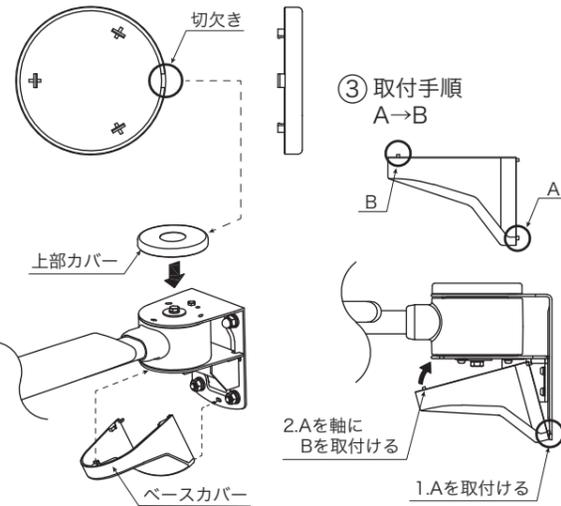
### 用語および記号、絵表記の説明

- 警告** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡またはケガを負う可能性が想定される内容を示しています。
- 注意** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、物的損害の発生が想定される内容を示しています。
- △** △記号は、注意(警告を含む)を促す内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容(左図の場合は感電)が描かれています。
- ⊘** ⊘記号は、禁止の行為(してはいけないこと)を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。
- ●記号は、行為を強制すること(必ずすること)を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容が描かれています。

② 上部カバーを(パチッと音がするまで)押し込む。

**注意**

**お願い** 上部カバー裏面に切欠きがありますので、切欠きを壁面に向けてください。



③ ベースカバーはA→Bの順で取付けてください。

**注意**

**お願い** ベースカバーの取付は、壁に製品が確実に固定されていることを確認したあとに行ってください。いたずら防止のため、一度取付けると外れにくい構造となっています。

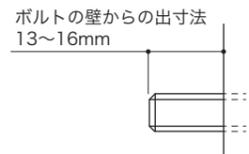
以下は、回旋棒付FSIタイプの説明となります。

## 4 回旋棒の取付 (※壁への本体取付前に本作業を行ってください)

- ① 製品図を参照し、墨出しする。
- ② φ12のドリルを使用して下穴をあけメカナットと寸切りボルトをセットする。
- ③ 上部カバー(穴あき)を回旋棒に通した状態で、本製品(FSI)に十字穴付き丸皿小ねじで確実に固定し、ガタツキがないことを確認する。
- ④ 寸切りボルトに回旋棒を固定する。

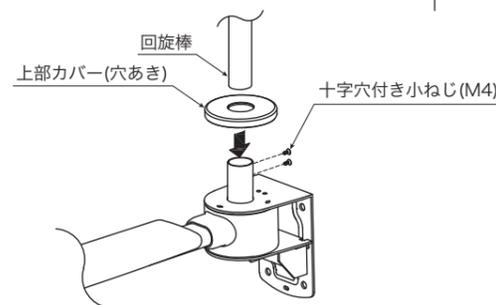
下穴寸法とボルトの壁からの出寸法

サイズ	下穴	出寸法
M6	φ12	13~16mm

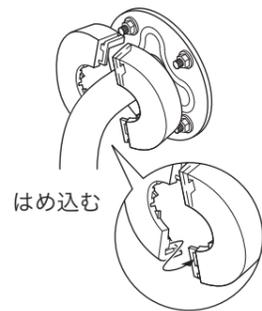


**警告**

**お願い** ナットは回らなくなるまで締め付けてください。締め付けが緩いと、製品が外れケガをするおそれがあります。



⑤ 各々のベースカバーを、お互いに逆方向に傾けてフレームに押し付ける。



⑥ ベースカバーを90°回転させる。

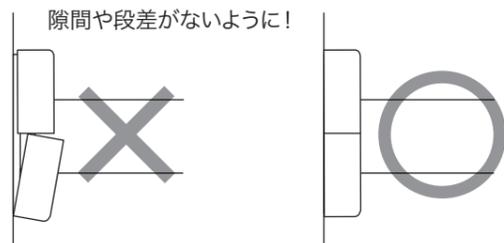


⑦ ベースカバーを壁面に押し付ける。



**警告**

**お願い** ベースカバーは、壁面に確実に押し付けてください。隙間や段差が生じているとケガをするおそれがあります。



⑧ ②に戻り、本体取付け以降を参照してください。

## 施工にあたって

- 警告**
- 必ず実行** **必ず強度のある壁や建築構造体に取付ける**  
土壁・石膏ボードなどの強度の無い壁に直接取付けると、手すりが外れたり、壁が壊れたりして使用される方が転倒し、ケガをするおそれがあります。
- 必ず実行** **必ず指定の固定金具を使用する**  
指定の固定金具を使用しないと、手すりが外れたり、壁が壊れたりして使用される方が転倒しケガをするおそれがあります。
- 必ず実行** **各下地の取付方法をよく読み、十分な下地の厚さ、および補強があることを確認する**  
下地に十分な厚さ、補強がないと、手すりが外れたり、壁が壊れたりして使用される方が転倒し、ケガをするおそれがあります。
- 必ず実行** **取付完了後、手すりにガタツキが無いことを確認する**  
手すりにガタツキがあると、手すりが外れたり、壁が壊れたりして使用される方が転倒し、ケガをするおそれがあります。
- 禁止** **修理技術者以外の方は、絶対に分解・修理・改造をしない**  
手すりの破損や脱落により、ケガをするおそれがあります。

## お問い合わせ先は、こちらまで

ご使用の製品の型式および、不具合の内容をご確認のうえ、ホームページもしくはQRコードへアクセスください。

- ナカ工業株式会社** URL <https://www.naka-kogyo.co.jp>
- ナカテクノタタル株式会社** URL <http://www.naka-techno.co.jp>

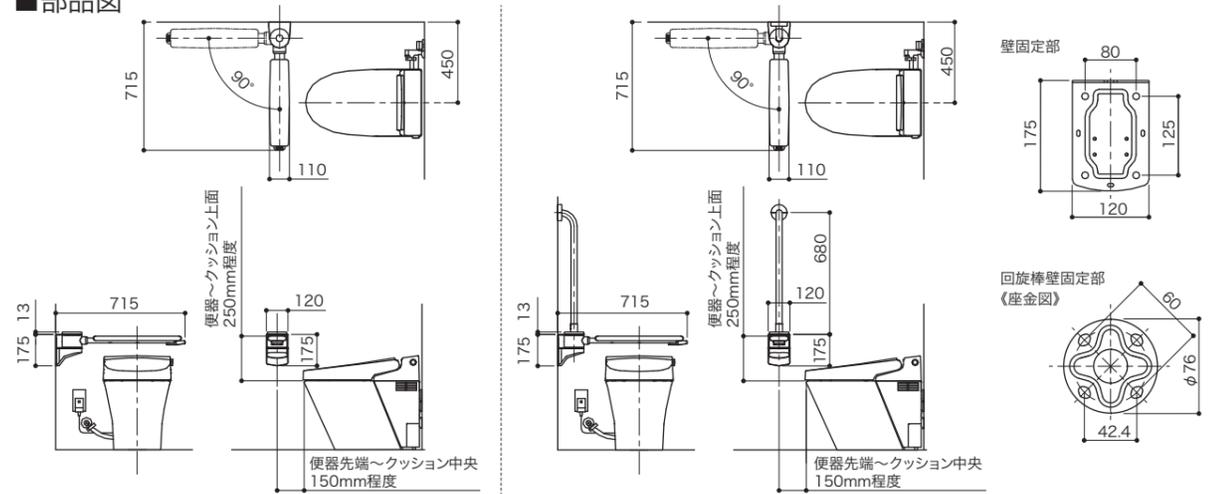


携帯電話のQRコード読み取り機能により、このコードを読み込むと、弊社アドレス一覧モバイルサイトへアクセス出来ます。

## 取付前に

### 製品図と部品表

#### ■ 部品図



※施工位置寸法は目安の寸法を示しています。使用者が特定できる場合は使用者の使いやすい位置に設置してください。

#### レストハンド FS

名称	個数
本体組立品 (FS)	1
上部カバー	1
ベースカバー	1
ストッパーボルト (6×10)	1
取扱表示シール	1
取扱説明書	1
施工マニュアル (本書)	1

#### レストハンド FSI

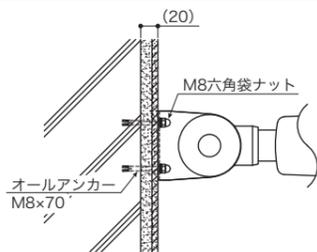
名称	個数
本体組立品 (FSI)	1
上部カバー (穴あき)	1
ベースカバー	1
回旋棒	1
ベースカバー A	2
ストッパーボルト (6×10)	1
十字穴付き丸皿小ねじ M4×10	2
取扱表示シール	1
取扱説明書	1
施工マニュアル (本書)	1



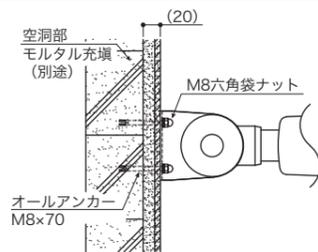
## 手すりの取付例

下記の取付例は一例です。取付けに使用するアンカーは、別途ご用意ください。(別売)

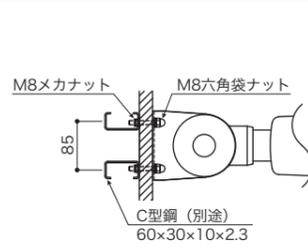
#### RC+モルタル+タイル貼



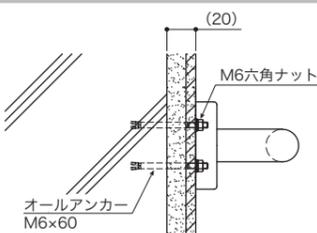
#### CB+モルタル+タイル貼



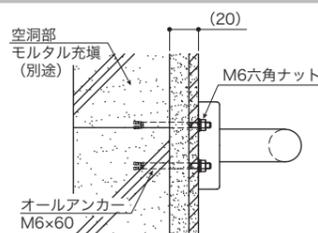
#### 軽量間仕切



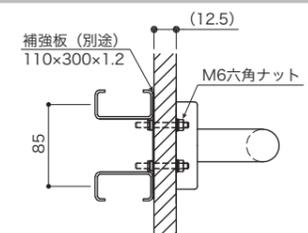
#### RC+モルタル+タイル貼



#### CB+モルタル+タイル貼



#### 軽量間仕切



## 取付手順

### 施工手順 例) C型下地の場合

#### ■ 固定部品表 (別売)

##### レストハンド FS

名称	サイズ	個数
メカナット	M8	4
六角ナット		2
六角袋ナット		2
平座金		4
バネ座金		4
寸切ボルト		4

##### レストハンド FSI

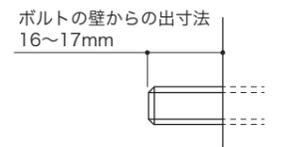
名称	サイズ	個数
メカナット	M8	4
	M6	4
六角ナット	M6	4
	M8	2
六角袋ナット	M8	2
平座金	M8	4
	M6	4
バネ座金	M8	4
	M6	4
寸切ボルト	M8	4
	M6	4

### 1 墨出し及び、製品の固定

- 製品図を参照し、墨出しする。
- φ14のドリルを使用して下穴をあけメカナットと寸切りボルトをセットする。
- 寸切りボルトに手すりを固定する。

#### 下穴寸法とボルトの壁からの出寸法

サイズ	下穴	出寸法
M8	φ14	16~17mm

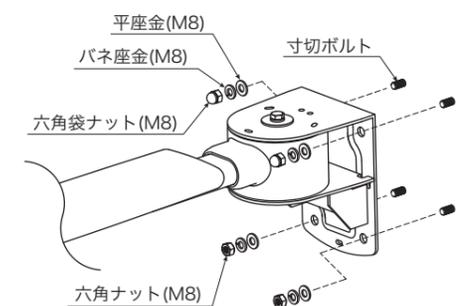


### ⚠ 警告

- 必ず実行** ボルトは適正な長さで取付けてください。適正な長さでない場合、本体が脱落したり、締め付けがあまくガタツキが発生しケガをする可能性があります。
- 必ず実行** 可動域に障害物がないか確認してください。本製品はブラケットを中心に水平方向にスイングします。障害物があると適正に可動せず、ロック不良によりケガをする可能性があります。

### 2 本体組立品の壁への取付 (※回旋棒付FSIタイプは先に 4 を行ってください)

壁にセットした寸切ボルトに本製品を平座金・バネ座金・六角袋ナットで確実に固定し、ガタツキのないことを確認する。



### ⚠ 警告

- お願い** ナットは回らなくなるまで締め付けてください。締め付けが緩いと、製品が外れケガをするおそれがあります。

### 3 ストッパーボルト及びカバーの取付

- 壁面に固定した製品のスイングさせたい方向に合わせて、ストッパーボルトを締め込む。



### ⚠ 警告

- お願い** ストッパーボルトは適正な位置に締め込んでください。取付を誤ると、手すりが適正に可動せず、ケガをする可能性があります。

- 必ず実行** 90°の状態ですトッパーボルトを固定してください。ストッパーボルトで固定後、スイングが90°で止まる事を確認してください。